

事務事業事後評価シート[平成26年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課		■担当係	母子保健係		
■評価事業名称	子育て支援事業					
■評価事業コード	040200 - 052	■会計区分	一般会計			
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり				
	■基本施策	01 子育て環境の充実				
	■施策	06 母子の健康の確保及び増進				
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策			
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務					
■法令等の名称	母子保健法・児童虐待の防止等に関する法律・次世代育成支援対策推進法					
■関連計画の名称	北上っ子すぐすくプラン・男女共同参画プラン・健康北上21					
■事業目的と概要	正しい知識の普及と仲間づくりを勧めることで、妊娠、出産、育児が楽しいと感じられる。母親学級、パパママ教室、育児学級、離乳食教室の開催					

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成26年度事業計画	平成26年度事業量実績
01	子育て支援事業	妊娠とその家族・乳幼児の保護者とその家族	母親学級 24回 育児学級 12回 離乳食教室 12回	母親学級 21回 延べ221人 育児学級 12回 延べ137人 離乳食教室 12回 延べ183人

3. 投入コスト情報

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考
直接事業費	297	361	356	418	
人件費	4,947	6,215	6,642	6,654	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	5,244	6,576	6,998	7,072	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	指標の説明
01	参加のべ数	523人	597人	638人	504人	母親学級は参加延べ数、他の学級については保護者の参加延べ数。H22震災のため3月は事業休止。H23震災対応のためパパママ学級休止。育児学級縮縮。母親学級隔月開催。H24パパママ学級再開

事務事業事後評価シート[平成26年度事業]

02 開催回数	46回	54回	54回	51回	H22震災のため3月は事業休止。H23震災対応のためパパママ学級休止。育児学級12→10回。母親学級隔月開催。H24パパママ学級再開。育児学級12回に戻す。
03 育児が楽しいと感じる割合	震災対応のため事業休止で数値出せず	90.5%			パパママ学級受講者の(4か月児健診で育児が楽しいと答えた人数÷学級受講者数×100)H23パパママ学級休止のため指標なし
04 参加者1人当コスト	10,027円	11,015円	10,951円	14,031円	フルコスト÷参加延べ数
05 開催1回当コスト	114,000円	121,778円	129,592円	138,941円	フルコスト÷開催回数
06 兩親学級夫の参加率	27.5%	31.3%	28.8%	18.0%	両親学級参加夫数/全初産婦数(男女共同参画指標)

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況	達成状況の分析	問題点・課題等
<input type="radio"/> A. 順調 <input checked="" type="radio"/> B. 概ね順調 <input type="radio"/> C. 遅れている	参加人数は減少しているが育児に関する知識の普及や仲間づくりの場になっている。	核家族化や近隣所との付き合いの減少等から育児知識の伝承の機会の減少や母の育児負担が大きくなっている。そのために、知識やスキル、夫婦で協力し合って育児していく必要性を学ぶ場が必要となっている。このような背景に合わせて事業内容の検討が必要。
1. 直接的な受益者の範囲	2. 事業廃止の影響	3. 国・県・民間との競合関係の有無
<input type="radio"/> 不特定多数に及ぶ <input type="radio"/> 特定されるが多数に及ぶ <input checked="" type="radio"/> 特定少数に限定される	<input type="radio"/> 大きな不利益やリスクが生じる <input checked="" type="radio"/> ある程度の不利益やリスクが生じる <input type="radio"/> 不利益やリスクは小さい	<input type="radio"/> 類似の事業はない <input checked="" type="radio"/> 類似の事業はあるが競合はない <input type="radio"/> 類似の事業があり競合する
4. 事業へのニーズの変化	5. 施策の改善需要度(市民意識調査)	6. 施策の優先度(市民意識調査)
<input type="radio"/> ニーズが高まっている <input checked="" type="radio"/> ニーズは変わらない <input type="radio"/> ニーズが低下している又は合致しない	<input checked="" type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input type="radio"/> 順位が低い	<input checked="" type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input type="radio"/> 順位が低い
7. 他市町村に比較しての優位性	8. 実施主体の代替性	9. 経済性・効率性の向上
<input type="radio"/> 先進的またはユニークな事業である <input checked="" type="radio"/> 他と同程度の事業である <input type="radio"/> 遅れている事業である	<input checked="" type="radio"/> 民間委託等の拡充は難しい <input type="radio"/> 民間委託等の拡充が十分に可能 <input type="radio"/> 全部委託や実施主体の移行が可能	<input type="radio"/> 今以上の効率化や改善は難しい <input checked="" type="radio"/> 効率化や改善を図ることは十分に可能 <input type="radio"/> 効率化や改善の余地が大きい
■今後の方向性	補足説明	
<input type="radio"/> I. 拡充 <input checked="" type="radio"/> II. 継続 <input type="radio"/> III. 縮小・要改善	<input type="radio"/> IV. 民間活用・協働事業化 <input type="radio"/> V. 廃止・休止 <input type="radio"/> VI. 完了	